

トヨタ、電気自動車「RAV4 L EV」を発売

— ニッケル水素電池を市販車に世界で初めて搭載 —

トヨタ自動車(株) (以下トヨタ) は、高性能ニッケル水素電池を搭載した電気自動車「RAV4 L EV」をトヨタカローラ店を通じて本年9月1日より発売する。なお、販売は当面関東、東海、近畿地区から開始する。

トヨタは、かねてより環境保全への取り組みを最重要課題の一つと位置づけ様々な課題に取り組んでいる。なかでも電気自動車では、平成5年から鉛電池を搭載したタウンエースEVを販売しているほか、同年にクラウンマジェスタEVのリース販売を行うなど積極的な開発姿勢を示している。また今回発売するニッケル水素電池搭載EVは、昨年8月に開催されたFIA公認第1回スカンジナビアンエレクトリックカーラリーに出場し総合優勝した車両をベースに開発され、国内および北米において地方自治体、電力会社等によるモニターテストを重ねて来たものである。

この車両は、RAV4 Lをベースとし、駆動用電池を床下に収納することで大人4人がゆったり乗れる室内スペースの確保と走行安定性を高めている。またデュアルSRS*エアバッグの標準装備、さらにヒートポンプ式エアコンディショナーの装備、サイドおよびリヤウインドウガラスには高熱線吸収UVカットガラスの採用など、走行性能、安全装備、快適性の充実に加え一充電あたりの航続距離200km以上を実現するなど通常の市街地使用では、実用上十分な性能を有した電気自動車としている。

* SRS : Supplemental Restraint System (乗員保護補助装置)

【RAV4 L EVの主な特長】

1. 大容量かつ長寿命で軽量のニッケル水素電池を市販車として世界で初めて搭載。
2. 高効率永久磁石式同期モーター、高性能回生ブレーキの採用などにより、一充電走行距離の伸長を図った。
3. 車載式充電機を採用し、充電スタンド以外の一般電源での充電を可能とした。
4. エアコンに、インバーター制御により電力消費を低減するヒートポンプ式エアコン (冷媒: HFC134a) を採用。
5. 乗員の快適走行を配慮し、電動油圧パワーステアリング、前席にシートヒーター、全てのウインドウガラスには、高熱線吸収UVカットガラスを採用。
6. フロントウインドウガラスに、くもりを防止するヒートッドウインドウシールドシステムを採用。



RAV4 L EV [ECA10G-AZDMM]

【主要諸元】

ベース車両	RAV4 L	
全長 × 全幅 × 全高 (mm)	3,565 × 1,695 × 1,620	
駆動用電池	シール形ニッケル水素電池	
車両重量 (kg)	1460	
乗車定員 (名)	4	
最高速度 (km/h)	125	
一充電走行距離 10・15モード走行 (km)	215	
駆動方式	FF	
駆動用モーター	種 類	永久磁石式・同期型
	最高出力 (kw/rpm)	45/2,600 ~ 8,600
	最大トルク (Nm/rpm)	165/ 0 ~ 2,600
トランスアクスル	モーター・減速機一体型	
タイヤ	195/80R16 (低燃費タイヤ)	

【販売概要】

1. 販 売 ・ 店 トヨタカローラ店
2. 目標販売台数 100台/年

【メーカー希望小売価格】

(消費税は含まず、単位：千円)

	東 京	名 古 屋	大 阪
RAV4 L EV	4,950		

以 上